

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	芸術	科目：	絵画技法研究	単位数：	2	指導学年：	3
使用教科書	自主教材	副教材	自主教材・参考作品				

年間指導目標：

・絵画の技法研究を通して、造形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や文化と幅広く関わる姿勢や能力を育成することを目標とする。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉え造形的な視点について理解を深める。 表現に必要な基礎的技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の趣旨を理解する。 美術の表現に必要な知識や技能を総合的にはたらかせ、制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉え、丁寧に粘り強く学習に取り組む。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	・素描（細密描写） 美術の表現に必要な素描の 基礎と応用について学ぶ。	(知)	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉え造形的な視点について理解を深める。 表現に必要な基礎的技能を身に付ける。 		○	※	※	○	12
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> 課題の趣旨を理解する。 美術の表現に必要な知識や技能を総合的にはたらかせ、制作を行う。 		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉え、丁寧に粘り強く学習に取り組む。 		○	※	※	○	
1 学期	期末 考査	・素描（石膏像） 美術の表現に必要な素描の 基礎と応用について学ぶ。	(知)	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉え造形的な視点について理解を深める。 表現に必要な基礎的技能を身に付ける。 		○	※	※	○	12
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> 課題の趣旨を理解する。 美術の表現に必要な知識や技能を総合的にはたらかせ、制作を行う。 		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉え、丁寧に粘り強く学習に取り組む。 		○	※	※	○	

2 学期	中間 考 査	・制作 制作を通して絵画技法の研究を行う。	(知)	・対象や事象を捉え造形的な視点について理解を深める。 ・表現に必要な基礎的技能を身に付ける。		○	※	※	○	16
			(思)	・課題の趣旨を理解する。 ・美術の表現に必要な知識や技能を総合的にはたらかせ、制作を行う。		○	※	※	○	
			(態)	・対象や事象を捉え、丁寧に粘り強く学習に取り組む。		○	※	※	○	
2 学期	期 末 考 査	・制作 制作を通して絵画技法の研究を行う。	(知)	・対象や事象を捉え造形的な視点について理解を深める。 ・表現に必要な基礎的技能を身に付ける。		○	※	※	○	16
			(思)	・課題の趣旨を理解する。 ・美術の表現に必要な知識や技能を総合的にはたらかせ、制作を行う。		○	※	※	○	
			(態)	・対象や事象を捉え、丁寧に粘り強く学習に取り組む。		○	※	※	○	
3 学期	学 年 末 考 査	・制作 制作を通して絵画技法の研究を行う。 ・鑑賞 絵画技法に関する内容の鑑賞を行う。	(知)	・対象や事象を捉え造形的な視点について理解を深める。 ・表現に必要な基礎的技能を身に付ける。		○	※	※	○	22
			(思)	・課題の趣旨を理解する。 ・美術の表現に必要な知識や技能を総合的にはたらかせ、制作を行う。		○	※	※	○	
			(態)	・対象や事象を捉え、丁寧に粘り強く学習に取り組む。		○	※	※	○	
合計										78